

豊郷町  
まち・ひと・しごと創生  
人口ビジョン・総合戦略  
概要版



平成28年2月  
豊郷町

豊郷町まち・ひと・しごと創生  
人口ビジョン・総合戦略 概要版  
発行：豊郷町  
編集：総務企画課 企画調整係



# 「地方創生」の動きと、これまでの豊郷町

人口減少問題は、国だけでなく、都道府県、市町村が一体となり長期に渡って取り組まなければ対応できません。地域の特性に合わせた対策も必要です。

## 「地方創生」とは？ -背景は全国的な人口減少-

最近「地方創生」という言葉を耳にすることがあります。これは「地方経済の振興により、若者を中心に地方の人が地元で働き、結婚し、子どもを育て、豊かに暮らせるようにしよう。それを人口減少対策にもつなげ、地方から日本を元気にしよう。」というものです。

注目されるきっかけの一つとなったのは、民間の研究機関である日本創成会議人口問題検討分科会（以下創成会議）による日本の将来の人口推計です。

創成会議は、国の機関である国立社会保障人口問題研究所（以下社人研）の人口推計に対し、20～30代の女性（以下若年女性）が大都市圏に流出する可能性を条件に加えて将来の人口を独自に推計しました。結果として、2010～2040年までの間に若年女性が5割以下に減少する自治体を、消滅可能性都市として発表しました。

## 「人口ビジョン」と「総合戦略」

人口急減・超高齢化という、我が国が直面する大きな課題に対応するため、国は2014年9月にまち・ひと・しごと創生本部を設置し、12月に総合戦略を策定しました。そして、各地域（地方自治体）も、それぞれの特徴を活かした独自の総合戦略を策定することになりました。

「豊郷町人口ビジョン」は、総合戦略の前提となるビジョンです。町の人口動態、産業、結婚、出産などさまざまな側面から現状分析を行い、現在の状況のまま推移した場合の将来人口の推計に対し、施策などで今後対応を行った場合の将来人口の予測などを示しています。

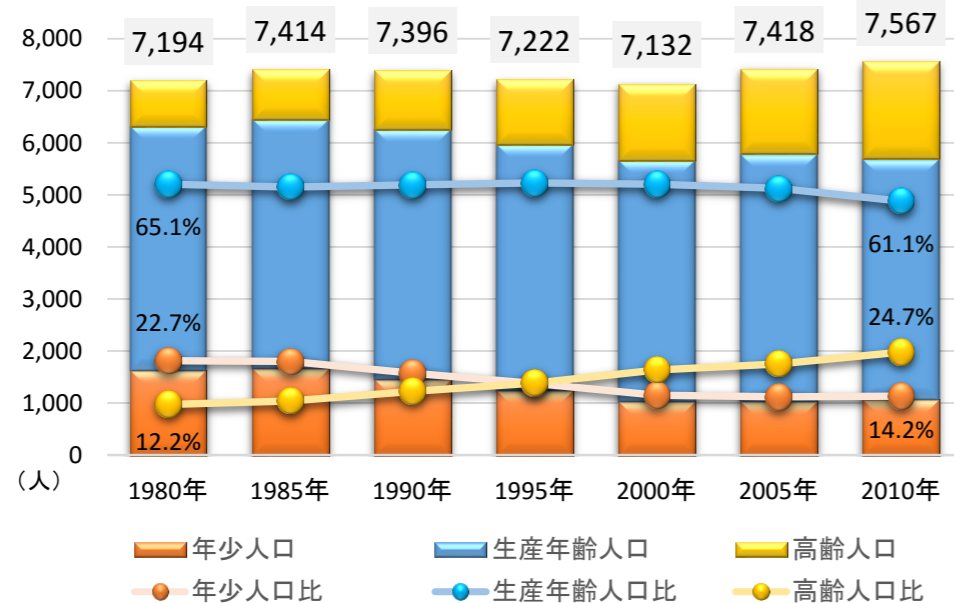
そして「豊郷町まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、豊かで暮らしやすい豊郷町を次の世代に残すため、今取り組むべきまちづくりの方向性と施策をまとめています。

## 豊郷町の人口は？ -これまで増加傾向-

減少を続けてきた全国の人口に対して、豊郷町の総人口は1980（昭和55）年から2010（平成22）年まで多少の増減を繰り返しながらも徐々に増加してきました。

1980年には、年少人口比22.7%、高齢人口比12.2%で年少人口比の方が大きかったのですが、1995年にほぼ同水準となり、以降は高齢人口比が年少人口比を上回っています。

豊郷町のこれまでの人口（総人口と年齢3区分別人口比）



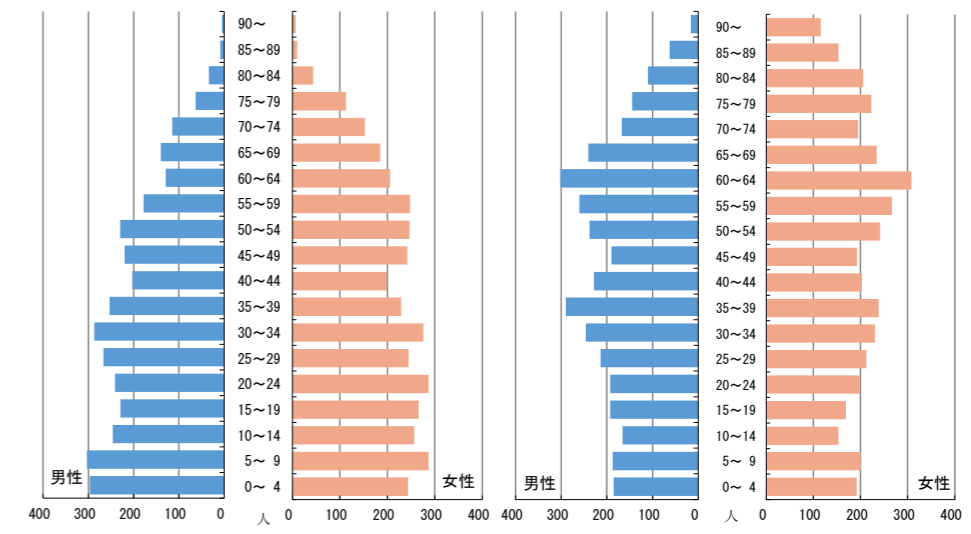
(国勢調査より) ※年少:0～14歳、生産年齢:15～64歳、高齢:65歳～

## 豊郷町の人口構成は？ -少子高齢化が進む-

人口ピラミッド（性別年齢別の人口構成）を見ると、1980年はいわゆる「つりがね型」で、人口が安定するといわれる状態でした。30代前半と、その子どもの世代（5～9歳や0～4歳）が多かったことがわかります。

2010年ではいわゆる「つぼ型」に近く、1980年に比べて14歳以下の人口の割合が低いこと、65歳以上の人口の割合が高いことから、少子化と高齢化が進んだことがわかります。

性別年齢別人口構成の推移（1980年と2010年の比較）

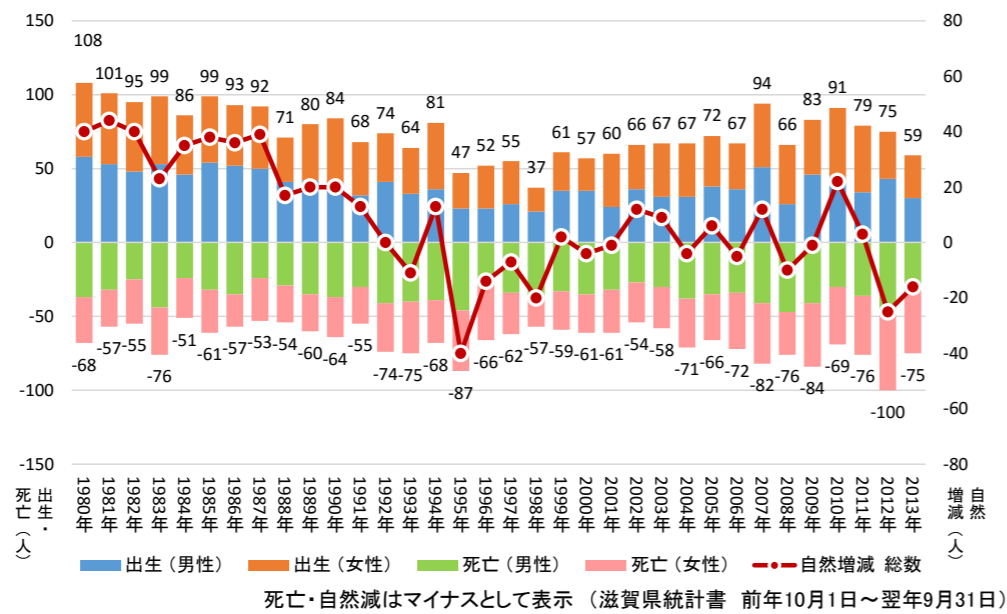


(国勢調査より)

## 自然動態

豊郷町では、1980（昭和55）年から1991（平成3）年まで自然増が続いていました。1993年以降は増減を繰り返し、自然減となる年も多くみられるようになっていきます。

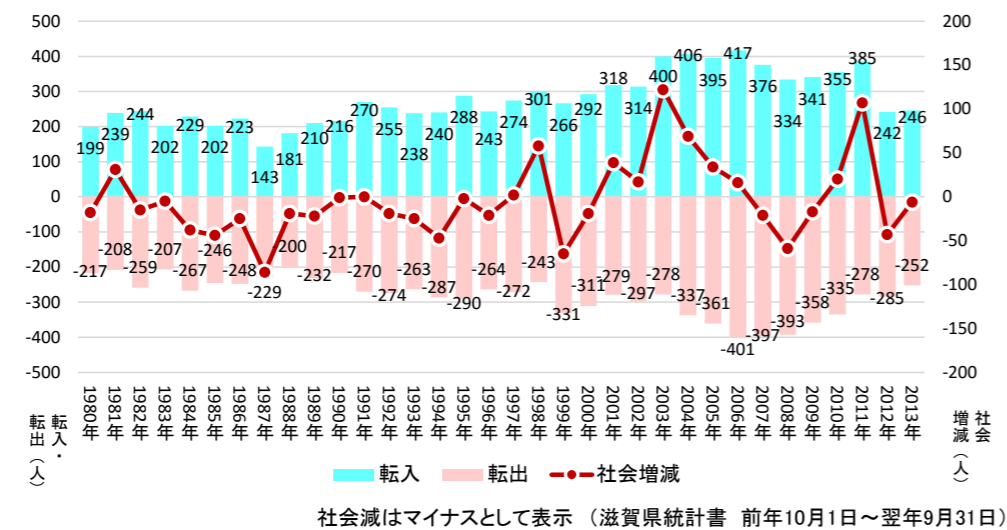
自然動態（出生・死亡数）の推移



## 社会動態

豊郷町では、1996（平成8）年まで転出超過でした。1997年以降は年により社会増・減が入れ替わり起こりますが、全体に転入の方が多く、この間の増減をまとめると254人の増加となります。

社会動態（転入・転出数）の推移



## 社人研の将来人口推計

社人研の仮定に準拠した推計では、豊郷町の2020年の総人口は7,525人、2040年には6,989人、2060年には6,178人になる予測となりました。

## 豊郷町独自の将来人口推計

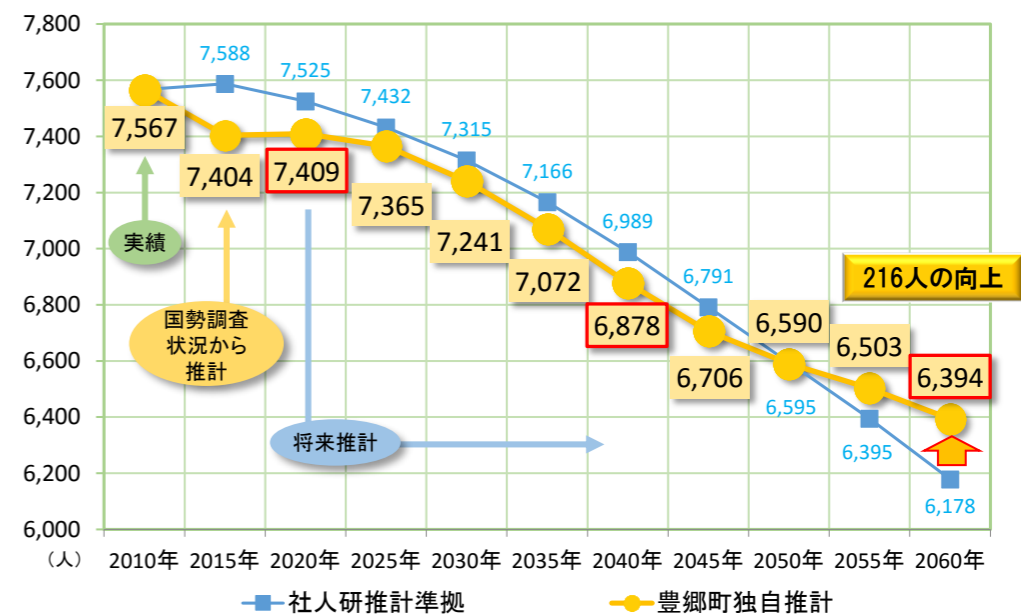
豊郷町の合計特殊出生率は1.76※1で県内市町第3位です。今後、この高い水準を維持し、将来的には向上させていくことが重要です。

2010～2015年にはファミリー層が多く転入しましたが、町内の宅地・住宅開発は今後収束していく可能性もあります。若者の転出がみられることなど、定住化や転入促進を図ることが町の課題と言えます。

また、2015年国勢調査の状況を独自に整理したところ、2015年時点の人口は、社人研の予測の97%弱程度で推移していると推計されました。

これらの状況を加味し、出生率や社会移動を町独自に仮定※2して将来人口推計を行ったところ、2020年の総人口は7,409人、2040年には6,878人、2060年には6,394人になると試算されました。

豊郷町独自の将来人口推計と社人研推計の比較（人口ビジョン）



（豊郷町人口ビジョンより）  
 ※1：厚生労働省人口動態特殊報告 2008年～2012年の期間  
 ※2：出生率は段階的に向上。開発による転入は今後収束するが、転出の抑制を図ることを想定。

今後、総合戦略等による施策を進め、農業など産業の振興、子どもを生み育てやすい環境づくり、定住化と転入の促進などを行うことで、2060年の町の人口は社人研推計よりも向上することが見込まれます。



## 目的と背景

豊郷町では、これまで急激な人口減少に見舞われることはありませんでしたが、今後は産業の振興、少子高齢化や若者の転出への対応などを進め、町の総合計画に挙げられている基本理念「やすらぐまち」「元気なまち」「つながるまち」の実現を目指さなくてはなりません。

いつまでも活力のある豊郷町であるために、「豊郷町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。



## 豊郷町まち・ひと・しごと創生総合戦略

豊郷町では、4つの基本目標とそれぞれの数値目標を以下のように定め、施策を進めていきます。

計画の策定にあたっては、専門的な見地、様々な立場からの助言・提言を反映するため「豊郷町まち・ひと・しごと創生推進委員会」を設置し、基本的方向、具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）等の検討を行いました。

### 基本目標1：特産物や「ひと」を活かす産業振興

【数値目標】農業の担い手数(事業者数) 21人(H26)→25人(H31)  
就農者の数 344人(H27)を維持する(H31)

○農業は町の原風景を形作るものであり、環境保全の上でも重要です。就農者支援等の取り組みによりその振興を図ります。  
○特産物の高付加価値化や、町民のチャレンジ精神を応援し、「ひと」を活かした産業の振興を図ります。

1-1 農業の振興	農業の担い手支援事業／地元農産物生産拡大事業／耕作放棄地対策／農業生産基盤の整備
1-2 町の特性を活かした産業振興	特産物振興事業／起業家育成事業

### 基本目標2：豊郷町への人の流れをつくる

【数値目標】社会増減数 年平均12人増を維持する(H27～H31)

○若者も高齢者も豊郷に暮らすという選択を後押しするため、暮らしやすい環境整備、住居への支援などにより、定住化及び転入の促進を図ります。  
○暮らす場所として選ばれるため、町の魅力を町外にアピールする「豊郷町のファンづくり」を進め、定住化及び転入の促進につながる人の流れをつくります。

2-1 定住化の促進	外出支援事業／地域支援事業／3世代同居促進事業
2-2 転入の促進	空き家対策事業／安全安心住宅支援補助事業／他府県・他市町からの転居促進
2-3 豊郷のファンづくり	地域資源を活用した観光振興事業／ふるさと納税推進事業／近江商人宿泊研修事業／地域カレッジ開催事業／豊郷町PR事業

### 基本目標3：豊郷で結婚・出産・子育てする人を支援する

【数値目標】子どもの数(0～18歳) 1,390人以上(H31)

○結婚する人への経済的支援やお祝い、町内での結婚を後押しします。  
○出産・子育て支援に関わる施策を今後も確実に実行し、さらに充実を図ることで、出生数向上につなげます。  
○明日を担う子どもたちは地域の宝です。学校、家庭、地域が一体となった子どもの教育を充実させていきます。

3-1 結婚の支援	結婚支援事業／出会いの場の創出
3-2 出産の支援	特定不妊治療費等助成事業／妊娠・出産・子育てに対する相談・支援事業
3-3 子育て世帯の支援と子育て環境整備	学童保育運営事業／福祉医療費助成事業／乳児生活応援助成事業／小中学校入学助成事業／給食費助成事業／子育て支援センター運営事業
3-4 子どもの教育の充実	学ぶ力育成推進事業／小学校外国語活動推進事業／「本大好き 豊郷っ子」推進事業／部活動推進事業／先人の遺徳を学ぶ事業

### 基本目標4：資源を活かした交流と、いきいき安心な暮らしづくりを進める

【数値目標】町での居住継続を希望する人の割合 H27調査時の割合(76.8%)を超えること(H31)

○豊郷町の魅力再発見につながる町ならではの体験の提供、文化・歴史を次代へ残していく取り組みを進めます。  
○町に住む人が楽しみ、交流できる機会を充実させ、町への誇りと愛着を育てます。  
○周辺地域とも連携しながら安全・安心・便利な暮らしをつくり、豊郷町を「住み続けたいまち」「住んでみたいまち」にしていきます。

4-1 「豊郷ならではの体験」の提供	江州音頭普及啓発事業／町史編纂事業／いきがい協働センター「子ども職業体験プログラム」
4-2 ふれあい、楽しむ場の創出	いきがい協働センター利用事業／とよさと収穫祭
4-3 安全・安心な暮らしづくり	地域防災力向上事業／老朽化施設エコ修繕事業／高齢者あつたか給食事業／生きがいデイサービス事業／地域見守り事業／キャラバン・メイト、サポーターの拡充
4-4 地域の利便性向上	愛のりタクシー運行事業



## 計画の推進

PLAN（計画）、DO（実施）、CHECK（評価）、ACTION（改善）の視点で継続的な改善を推進するPDCAサイクルを実施し、「豊郷町まち・ひと・しごと創生推進委員会」を中心に総合戦略の進捗や効果の検証を行って、計画の見直しや次の行動につなげていきます。